



今日の表紙 日光杉並木マラソン大会



8月7日(日)、第6回日光杉並木マラソン大会が開催されました。今回は、溝畑 宏 観光庁長官(写真①中央)が選手として出場し、福田富一 県知事が初めてスターターを務めるなど、国と県が風評被害などで苦しむ市の安全性を後押しする大会となりました。

大会コースの例幣使街道は起伏が激しく、選手には厳しいコースですが、2,198名が完走。ゴール地点では、完走を喜ぶ姿が見られました(写真②)。一般女子5kmの部で3位になった今市工業高校2年生の沼尾優香さん(今市)は、「参加者が多くて難しいと思っていたので、入賞できてうれしいです」と話してくれました。

また、現在レディオベリー(FM栃木)で毎週木曜日に放送中の「Nikko Wave」スタッフ(写真③)も参加し、完走後に笑顔を見せてくれました。



日光夏祭

7月30日(土)に、二社一寺などで、東日本大震災からの復興を祈願し、日光夏祭が開催されました。二荒山神社境内では、大工町本家体の披露や、神楽殿での和太鼓の奉納が行われ、輪王寺三仏堂では、秘舞「延年の舞」が奉納されました。



また、山内の表参道には特設会場が設置され、流鏝馬神事が奉納されました。当日は、早朝からの雨にもかかわらず、震災のために春の例大祭で中止となっていた流鏝馬の演武を見ようと、多くの観客が詰め掛けました。雨は流鏝馬の開始直前に止み、勇壮な演武が進むにつれ、明るい日差しが差し込みました。復興の祈りがこもった舞と演武、太鼓の響きが雨雲を吹き飛ばし、日光に晴天をもたらしたかのようでした。



湯西川水の郷オープン

7月18日(月・祝)、湯西川温泉の観光施設「湯西川水の郷」がオープンしました。敷地内には、温泉施設や飲食・土産のコーナーを備えた水の郷観光センター、土器や古民具を展示した湯西川くらし館、足湯などがあります。竣工式では、工事経過報告やテープカットが行われ、記念イベントでは、地元保存会の獅子舞や、湯西

川保育園の園児・卒園児によるキッズよさこいソーランなどが披露されました。源泉掛け流しの露天風呂に一番風呂に入った鈴木さん(土浦市)は、「お湯で肌がスベスベして、最高のお風呂ですね」と、また水車挽きのそば粉を使っただそばを食べた石川さんご夫妻(宇都宮市)は、「とてもおいしいです」と話してくれました。

美術館ワークショップ



7月23日(土)、小杉放菴記念日光美術館で、ダンボールを使った独自の技法で作品を作る玉田多紀氏によるワークショップ「生まれ変わる、よみがえるダンボール～ダンボールでつくる生きものたち」が開催されました。

参加者は全身を使ってダンボールを転がすことから始め、丸めたりちぎったり、木工用ボンドで貼り付けたりしながら、思い思いの生き物を作り上げました。

日光和楽踊り

8月5日(金)、古河電工日光事業所で日光和楽踊りが開催されました。会場では、午後7時に色鮮やかなイルミネーションが一斉に点灯され、浴衣姿の人たちが和楽池内に設けられた2基の櫓の周りで踊りを楽しみました。



また、和楽踊りコンテストや抽選会なども行われ、会場は大いに盛り上がりました。

日光和楽踊り



龍王祭

今年で43回目を迎える龍王祭が、7月22日(金)～24日(日)の3日間開催されました。22日の午前中には、本祭に先立ち龍王峡の五龍王神社で神事が行われ、龍王太鼓が奉納されました。鬼怒川温泉の本祭は、22日・23日に鬼怒川温泉駅前広場で開催され、特設ステージでは地元コーラスグループの歌声や豪快な龍王太鼓、

歌謡ショーなどが披露され、地元の人や観光客など大勢の人でにぎわいました。祭りの終盤には、万燈神輿が会場内を練り歩く中、花火が打ち上げられ、祭りを大いに盛り上げました。また、23日・24日に川治ふれあい公園で行われた川治温泉の本祭は、ダンスパフォーマンスショーや歌謡ショー、ビンゴ大会などが2日間にわたり行われ、集まった人たちは夏の祭りを満喫しました。



2011 日光夏の花火

8月1日(月)、大谷川河畔で2011日光夏の花火が、開催されました。約5,000発の花火が夜空を華やかに彩り、特大スターメインでは、会場からどよめくような歓声が起こりました。

当日は天候にも恵まれ、大勢の観客は、大谷川の爽やかな風と夜空の光のドラマに酔いしれていました。



足尾石刀節全国大会

せつとぶし

8月7日(日)、足尾市民センターで開催された第5回足尾石刀節全国大会。足尾石刀節は、明治のころ足尾銅山の坑夫が辛さや孤独感を慰めるために歌ったもので、足尾に伝わる郷土民謡です。大会は、全国から民謡愛好家の方々が一同に会し、練習を重ねてきた自慢の節回しを披露しました。出場者99名の頂点に輝いたのは、柿沼初雄さん(宇都宮市)でした。